

## 異業種の知恵と技術力をぶどう栽培に活用

【平成 29 年 8 月 30 日 掲載】

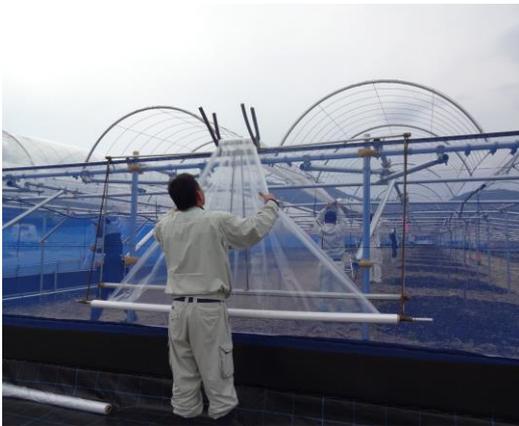
東広島市志和町のすざわ果樹園（代表者：須澤勝己（すざわかつみ）47 歳，経営面積 1.3ha）では，園の大部分を占める 2 年生樹のぶどうが初収穫を迎えました。

須澤さんは土木関連会社の役員の傍ら，5 年前に新規就農し，1.3ha の遊休農地を購入したり借り受けるなどして，1.3ha で 14 品種のぶどうを栽培しています。

ほ場作りと棚整備は，須澤さんが勤務する会社で培った経験をもとに独自の工法で実施しています。

また，栽培管理には，社内の年配技能者が雇用され，トンネル被覆作業の省力化など様々な工夫が生まれています。さらに，今春から女性スタッフ 4 名が加わり，抜群のチームワークで迅速かつ丁寧に適期作業を進めています。

今夏，果樹園そばの空き家をリノベーションして直売所をオープンし，交流と情報発信の拠点としても活用しています。



【年配技能者が考案したトンネル被覆作業】



【ふらっと立ち寄りたくなるような直売所】

情報提供元

西部農業技術指導所